

みんなで地域の学校を盛り上げよう!

コミュニティ・スクール

Community School

～保護者・地域の方々へ～

北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ

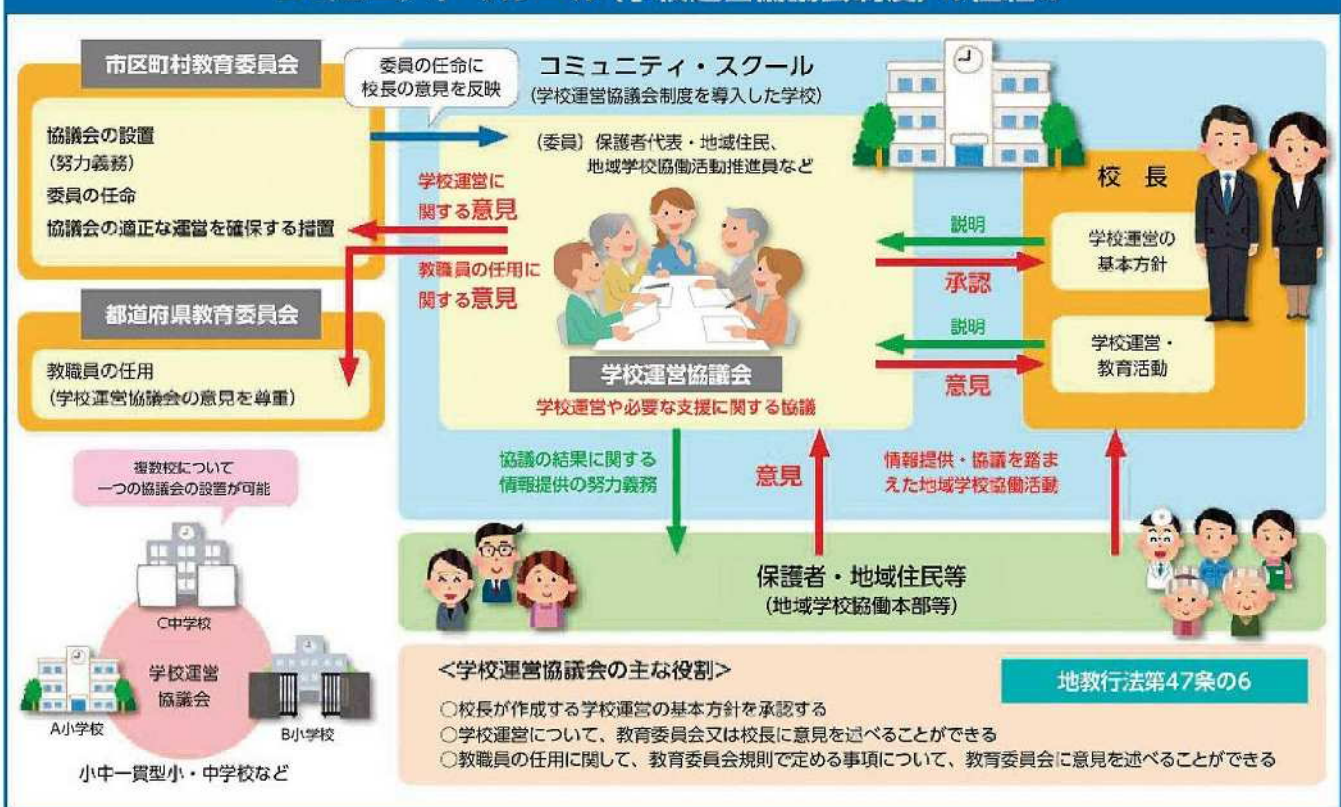
コミュニティ・スクールって何？



■コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を置いた学校です。

- 地域の公立学校の運営に皆さんの声を生かす仕組みです。
- 保護者や地域の住民、有識者などで構成する「学校運営協議会」を通じて、皆さんの意見を学校運営に反映します。
- 地域の手を学校運営に生かしながら、幅広い地域住民の参画を得て、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進めることで未来を担う子どもたちの学びや体験を充実することができます。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



(文部科学省ホームページより)

でも...

普通の学校とはどこが違うの？
PTAとはどこが違うの？
学校評議員との違いはあるの？



どうやってつくるの？
つくって何をするの？
どうして必要なの？

コミュニティ・スクールに関する疑問と回答

■ 学校運営協議会を置いた学校と普通の学校とはどこが違うの？

- ◎ コミュニティ・スクールも公立学校に変わりはありません。
- 運営に当たって、保護者や地域の皆さんの参画が仕組みとして保障されます。
- この仕組みをうまく活用して、地域の意見を踏まえた教育活動（挨拶運動・学力向上）を行ったり、地域の力を借りて放課後等の子どもの居場所づくりを行ったりすることができます。
- 学校と地域が力を合わせることによって、学校と地域が互いに信頼し合い、取組の成果を分かち合いながら、それぞれがやりがいを感じ、生き生きと輝く存在になることがねらいです。



学校と地域が一体になって、役割を分担しながら、それぞれが主体的に取り組むことで、より成果が高まり、互いに達成感を味わうことができます。

■ 学校運営協議会とPTAとはどこが違うの？

- ◎ PTAは、学校運営協議会とはその役割・機能を異にするものです。
- PTAは、学校及び家庭における教育の理解と振興や、児童生徒の学校外における生活指導などの社会教育活動を目的とする社会教育団体として学校と家庭・地域をつなぐ役割を持ち、学校の教育活動に協力を行うものです。
- PTAの役員が学校運営協議会に委員として参画することで、学校運営にPTAの意向を反映したり、学校運営協議会がその活動にPTAの協力を求めたりするなど、互いに補完し合いながら、学校・家庭・地域の連携をより一層密にして取組を進めることができます。



PTAや地域の意見を踏まえた学校運営が行われ、より多くのPTA会員と地域住民が活動に参画することで、それぞれの取組の充実・発展につながります。

■ 学校運営協議会と学校評議員との違いはあるの？

- ◎ 学校評議員は、学校運営協議会に比べて、その役割が限定的で異なります。
- 学校評議員は、学校教育法施行規則に基づき、校長の求めに応じて、個人としての立場で、学校運営に関する意見を述べるもので、校長や教育委員会の学校運営に関して直接関与したり、拘束力のある決定を行ったりするものではありません。
- 学校運営協議会は、学校の教育目標やビジョンを学校と共有するとともに、教育委員会や校長に学校運営、教職員人事について意見を述べることができる一定の権限を有する合議制の機関で、学校評議員や学校関係者評価と一体化した取組も可能です。



学校運営や教育活動等について協議し意見を述べる類似の仕組みもありますが、学校運営協議会の協議結果は、迅速かつ的確に学校運営の改善に反映されます。

■ コミュニティ・スクールはどうやってつくるの？

◎ 教育委員会が学校運営協議会規則をつくります。

- コミュニティ・スクールは、小・中・義務教育学校その他、幼稚園や高等学校・特別支援学校などの**公立学校を設置する教育委員会が導入**します。
- 教育委員会は、これまでの地域の取組、学校や保護者、地域の皆さんの意向等を踏まえ、**地域の実情に応じた学校運営協議会の在り方を決定**します。

学校・地域間の連携を図るため、協議会を学校毎でなく複数校合同で設置したり、合同会議や連絡会議を開催したりしている地域もあります。また、全体会とは別に部会を設置している協議会もあります。

◎ 規則を踏まえて組織と体制をつくります。

- 学校運営協議会の委員の人数や構成、役割等は、**学校や地域の実情に応じて定められますが、保護者や地域住民、学校の運営改善に関する活動を行っている者**（支援活動の関係者）は必ず委員に含まれます。

教育委員会は、協議会を地域住民や保護者の意向を十分反映できる人数・構成とし、実効的・効果的な協議が行われる適切な人材を選出して委員に任命します。

■ コミュニティ・スクールをつかって何をするの？

◎ コミュニティ・スクールには次の三つの機能（役割）があります。

- 校長が作成する**学校運営の基本方針を承認**します。（必ず行います）
- **学校運営について意見を述べる**ことができます。
（基本方針を踏まえた学校の運営全般についての意見です）
- **教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項**について**意見を述べる**ことができます。

1年間の学校運営協議会の例を4頁に掲載しています

「協議会の趣旨を踏まえた建設的な意見」「個人を特定しての意見ではなく学校の教育上の課題を踏まえた一般的な意見」などの事項が規定されます。

■ これまでも取り組んできたのに、どうして新しい仕組みが必要なの？

- 各地域では、地域と学校が連携して、地域の特色を生かした学校の支援活動等の様々な取組が進められていますが、これからの社会を創っていく子どもたちの成長を支えるため、**地域と学校の連携・協働体制をより組織的・継続的なものにして、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を一層充実**していく必要があります。
- コミュニティ・スクールの仕組みを活用することで、関係者の全員で「**目標を共有し**」「**意見を交わし**」、お互いの「**立場・責任を理解し、役割を分担し**」、それぞれが「**当事者として**」取り組むことで、これまでの成果をより高め、地域の実情に応じて「**人が入れ替わっても**」「**様々な課題にも**」対応できる「**未来を見据えた**」「**持続可能**」な体制とすることができます。

これまでの取組のよさを生かしながら、子どもたちの将来のために、学校・地域ができることを、この先も、みんなで考え、取り組み続けていくための仕組みです。

◆ 学校運営協議会の1年間の流れ（年間4回開催）の例 ◆

第1回学校運営協議会

- 今年度の学校運営の基本方針の承認
- 学校運営の年間計画・業務内容、重点活動項目についての協議
- 部会毎に重点活動項目の活動計画・内容についての協議



承認した学校運営の基本方針を受け、目標を共有し、その実現に向け、重点的に取り組む活動項目等を協議します。

地域学校協働本部や学校支援ボランティア、PTA、企業・団体などの参画を得て、学校と地域の特色を生かした活動を進めます。

部会で具体的な取組、実施に向けた役割分担などを明確にします。

第2・3回学校運営協議会

- 学校運営の取組状況についての協議（報告・確認）
- 重点活動項目の活動状況についての協議（評価・改善）
- 学校・地域における課題とその改善策についての協議

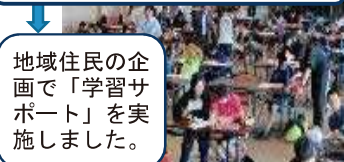
保護者や地域の声の反映に努めます。

「学校の授業を充実したい」



いろいろな「じどう車」の見学乗車体験を実施しました。

「学力向上の取組を進めたい」



地域住民の企画で「学習サポート」を実施しました。

「地域全体の安全意識を高めたい」

地域と学校がそれぞれ実施していた「防災避難訓練」を合同で実施しました。



第4回学校運営協議会

- 今年度の学校運営の評価と改善策の協議
- 次年度の学校運営、協議会の方向性の協議



学校運営の評価を行うだけでなく、改善策と次年度の方向性について全体会・部会で協議します。

◆ 保護者や地域の方々にとってのコミュニティ・スクールの魅力 ◆

- ・学校や地域に対する理解が深まります。
 - ・地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
 - ・保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。
 - ・経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
 - ・学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
 - ・学校を中心とした地域のネットワークが形成されます。
 - ・学校と地域が一体となった防犯・防災等の体制が構築できます。など
- 大変なこともありますが、その分やりがいを味わえて、次の活動への意欲が高まります。



《コミュニティ・スクールに関する情報は…》

【文部科学省ホームページ】

コミュニティ・スクールについての「パンフレット」や「全国の実践事例の紹介」などの情報が掲載されています。

文部科学省 コミュニティ・スクール

検索

【北海道教育委員会ホームページ】

コミュニティ・スクールについての「リーフレット」や道内市町村・学校の「実践事例集」「CS通信」などの情報を掲載しています。

道教委 コミュニティ・スクール

検索



OR